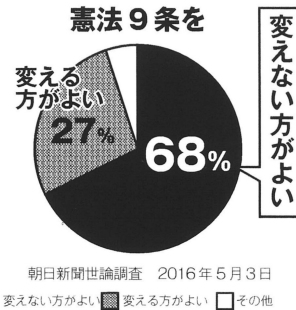


国民は「憲法改正」を求めています

「9条守れ！」が 圧倒的な国民の声

参議院選挙の結果、「改憲勢力」が「3分の2」を占めました。「自分の在任中に憲法改正を成し遂げたい」と語っていた安倍首相は、選挙中は改憲発言を封印。選挙が終わったとたん、改憲論議をすすめようと意欲を示しています。

国民は、けっして、この参議院選挙で改憲を支持したわけではありません。選挙で多数をとったからと、改憲にアクセルをふかすなど、許されません。世論調査では、どの調査でも「改憲反対」が「改憲賛成」を上回っています。とりわけ、憲法9条については、「変えないほうがよい」が圧倒的に多数です。



改憲ストップ!

憲法をいかし いのちが大切にされる社会へ

戦争法を強行し、さらに明文改憲をねらう安倍首相。自民党の憲法改正草案は、憲法9条2項を削除して「国防軍」を明記し、国民の権利を制限するものです。また、戦前の戒厳令のような「緊急事態条項」もねらっています。

「二度と戦争しない」と誓い、いのち・平和・人権、個人の尊厳を守ることを確定した日本国憲法。いま、求められているのは、憲法を変えることではありません。日本国憲法を守り、いかすことです。

「戦争法廃止を求める統一署名」 1350万人を突破、広がっています!

「戦争だけはイヤだ」という思いを集めて広がった「戦争法廃止を求める2000万人統一署名」。昨年の11月にスタートした「2000万人統一署名」は、約半年間で1350万人を超えて急速に広がりました(6/15現在)。第190国会(1/4~6/1の会期)には、1291万人分の「2000万人統一署名」が提出されました。

安保関連法が施行されて4か月。「戦争法廃止」「憲法9条守れ」の国民の声は、広がり続けています。

危険高まる南スーダンPKO 戦争法を発動させてはなりません

秋には、南スーダンPKOに派遣されている自衛隊に、「駆けつけ警護」や「住民保護」などの任務の追加が狙われています。激しい戦闘が続く南スーダンで、自衛隊が「人が殺し、殺される」戦争に参加する現実の危険が高まっています。日本は、憲法9条があったから、自衛隊の創設以来、一人の外国人を殺すことも一人の戦死者を出すこともありませんでした。憲法違反の戦争法は今すぐ廃止すべきです。